

【小学生の部】鹿児島県知事表彰

土砂災害

鹿児島市立川上小学校 5年 よねやま 米山 まなみ 愛美

今年も日本各地でたくさんの災害が起きています。テレビのニュースを見ると、いろいろな災害についてのニュースがたくさん出てきます。私は、災害について調べてみようと思いました。

災害の種類は、地震、火山噴火、土砂、津波、水害、台風、積乱雲、ごう雪の災害があります。その中でも、この時期に最も多い土砂災害はどんな時に起きているのか、調べてみることにしました。

私はまず、図書館で災害についての本を探して、調べることにしました。

土砂災害は、大雨の時に発生する災害です。大雨が降ると多量の雨水が地中にしんとうします。山の斜面では、土の重さで下に落ちようとする力と、それを止めようとする力が、おたがいにはたらきあっています。その地中にしんとうした水は、崩れを止めようとする力を小さくする働きがあり、その結果、山崩れが発生するようです。

また、土砂災害は、大雨のときばかりではなく火山噴火によっても起こるようです。

火山噴火による土砂災害は、どのように起こるのでしょうか。火山の斜面は、水を通しやすい性質を持っています。そのため、降った雨は、地下水となって山のふもとからわき出てきます。火山が噴火すると、火山灰が斜面に積もります。この火山灰の層はとても細かいつぶでできているため、水を通しにくい層となります。そこで降った雨は、積もった火山灰の表面を流れ下ります。そのとき、水は細かい火山灰を巻き込んで土石流となるそうです。

土砂災害の危険箇所は、全国で約五十二万箇所もあるそうです。

今回、土砂災害の起こり方を学ぶことができました。自然災害はいつ起こるか分かりません。そして、自然災害は誰にも止めることはできません。自分たちに今できることは、災害が起きた時にどのような行動をとるべきなのかを学び、防災訓練をしておくことです。

そして、これから、防災や自分の地域のハザードマップを調べてみたいと思います。自分の身は自分で守る。そして、多くの人を救えるような知識を身につけておきたいと思います。